

ダーク・ファンタジー、降臨！

映画『Alice in Dreamland アリス・イン・ドリームランド』



© 2015 清水真理/『Alice in Dreamland アリス・イン・ドリームランド』フィルムパートナーズ

日本 2015 デジタル 44分 カラー

<人形制作 清水真理 蜂須賀健太郎監督作品>

公式サイト <http://aliceindreamland-movie.com>

【出演】

アリス 内田彩 白うさぎ 下野紘 闇 一条和矢 アリスの姉・赤の女王 勝田詩織
チェシャねこ・白の女王 橋本まい ねむりねずみ・ユニコーン 川口翔
ライオン・イカレ帽子屋 松下悠矢 三月うさぎ 佐藤俊輔
トゥイードルダム・トゥイードルディー 山口立花子 黒（白）のナイト 赤山健太

【スタッフ】

主題歌 オープニング 『ALICE IN THE UNDERGROUND』
エンディング 『大人になったアリス (Grown-up Alice)』
作詞・作曲 佐藤由佳 歌 黒色すみれ 音楽 arai tasuku
アニメーション・ディレクター 難波勝彦 アソシエイト・アニメーション 和智梓未
音響効果 小澤奈津江 録音・整音 西山英樹 録音スタジオ スリーエー工房
脚本 太田龍馬・蜂須賀健太郎 製作 中村信之 制作プロダクション ビットギャング
製作・配給『Alice in Dreamland アリス・イン・ドリームランド』フィルムパートナーズ
人形制作 清水真理 原案・監督 蜂須賀健太郎



【物語】

姉と二人で暮すアリスのところに懐中時計を持った白うさぎが現れた。「アリスの住んでいるこの世界は現実ではなく、やがて闇の力によって世界の終わりが訪れる。物語の世界を救わなければならない、だから出発しよう」。戸惑うアリスだったが、やがて冒険の旅が始まる…。

お話はルイス・キャロル原作の『不思議の国のアリス』をモチーフに、アリスの絵本の中に、入り込んでしまう少女アリスの成長物語。闇に支配されつつある「物語の世界」を、アリスが闇と対峙して、救う姿を描く。

【解説】

現在、最も注目されてる人形作家・清水真理と、映画『サンタクロースがやってきた』が話題となった監督・蜂須賀健太郎がおくる、劇場用ダーク・ファンタジー映画『Alice in Dreamland アリス・イン・ドリームランド』。これは球体関節人形を、撮影、キャプチャし、コンピュータ上で、フラッシュ技法とカット・アウトという技法を併用して作った、独創的なアニメーション映画です。

登場するメイン・キャラクターは、なんと20体以上、すべて手作りの人形たちです。主人公アリス、姉の他、白うさぎ、イカレ帽子屋、ねむりねずみ、ライオン、ユニコーン、ハンプティ・ダンプティなどなど。皆さん、『不思議の国のアリス』や、『鏡の国のアリス』で、おなじみのキャラクターばかり。

声の出演は、アリス役に、『ラブライブ!』『宇宙戦艦ヤマト2199』の内田彩、相棒の白うさぎ役に『うたの☆プリンスさまっ♪シリーズ』『進撃の巨人』の下野紘、対する闇の役に『おじゃる丸』『DD北斗の拳』の一条和矢。他に勝田詩織、橋本まい、川口翔、松下悠矢、佐藤俊輔、山口立花子、赤山健太などの豪華人気声優群が出演。

主題歌は、映画『花宵道中』テーマ音楽『ラピスラズリ』や、10周年記念アルバム

『Cosmopolitan』など、「オルタナティブミュージック」と高く評価される、黒色すみれ。音楽はダークな世界観を得意とする作曲家arai tasuku。

さらにこの作品は、プレスコという手法を使って作られ、先に声優たちが演じるのを録音、それに合わせてアニメーション制作が進められました。

映画の資金調達は、昨年より並行してクラウド・ファンディングでも行われ、高い目標金額にも関わらず、それを上回る金額が達成、作品への関心度の高さがうかがわれます。

【清水真理プロフィール】

人形作家。熊本県天草出身。多摩美術大学美術学部二部芸術学科映像コース卒業。主に球体関節人形のほか、実験的な人形オブジェ作品を制作する。2000年、バンド“ムック”のCDジャケットに人形写真が使用され注目される。テレビドラマ「赤い糸の女」（東海テレビ）や「カラマーゾフの兄弟」（フジテレビ）、虚飾集団廻天百眼の舞台「少女椿」への人形提供、松岡正剛 プロデュース書店「松丸本舗」での人形展示など、従来の創作人形の枠を超えた表現活動を行っている。2011年から毎年、イタリア・ブレシアでの展示「Il Giappone nel chiostro」に参加。2013年冬、ファッションブランド「ペイ*デ*フェ」とのコラボレーションワンピースを発表。現在も精力的に作家活動をしている。これまでの掲載誌に『アートコレクターズ』、『yaso夜想』、『トーカーキング・ヘッズ叢書』など。主な作品集に『Miracle〜奇跡〜』がある。

【蜂須賀健太郎プロフィール】

映画監督。1965年生まれ。デジタル・コンテンツ、ミュージック・ビデオ、アニメーション、キャラクターなどのさまざまな映像作品を監督。主にファンタジーを基盤としたものが多い。映画作品に『黄昏のアインシュタイン』（ヴァンクーバー国際映画祭正式出品、サンフランシスコ・アジアアメリカ国際映画祭正式出品）、『アクアリウム』（福岡アジア映画祭正式出品）などがある。2013年に作られた実在のサンタクロースを描いたファンタジー『サンタクロースがやってきた』が話題となる。